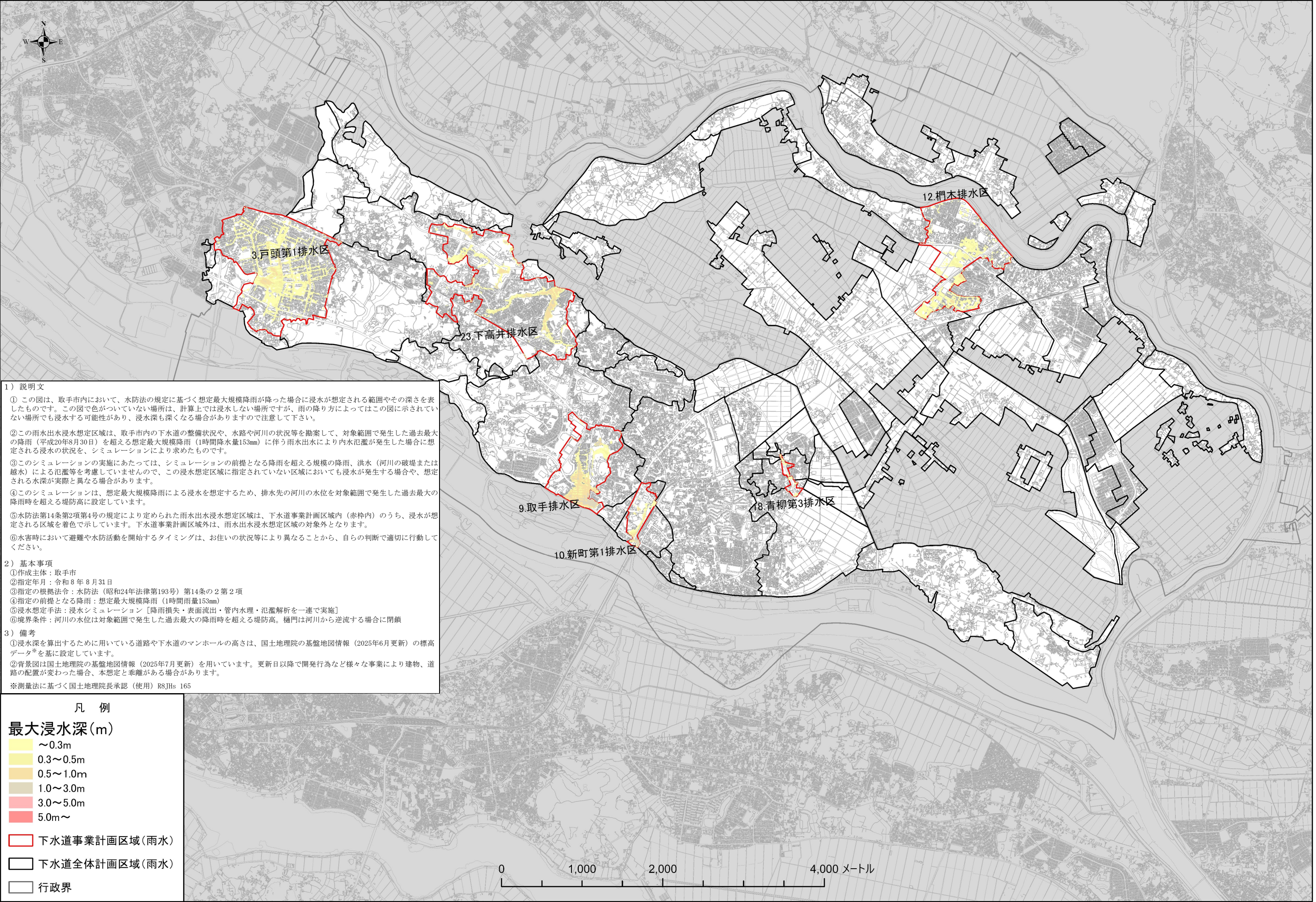




1) 説明文

① この図は、取手市内において、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所ですが、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。

②この雨水出水浸水想定区域は、取手市内の下水道の整備状況や、水路や河川の状況等を勘案して、対象範囲で発生した過去最大の降雨（平成20年8月30日）を超える想定最大規模降雨（1時間降水量153mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

③このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

④このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を対象範囲で発生した過去最大の降雨時を超える堤防高に設定しています。

⑤水防法第14条第2項第4号の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、下水道事業計画区域内（赤枠内）のうち、浸水が想定される区域を着色で示しています。下水道事業計画区域外は、雨水出水浸水想定区域の対象外となります。

⑥水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2) 基本事項

①作成主体：取手市

②指定年月：令和 8 年 8 月 31 日

③指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の 2 第 2 項

④指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間雨量153mm）

⑤浸水想定手法：浸水シミュレーション〔降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施〕

⑥境界条件：河川の水位は対象範囲で発生した過去最大の降雨時を超える堤防高。樋門は河川から逆流する場合に閉鎖

3) 備考

①浸水深を算出するために用いている道路や下水道のマンホールの高さは、国土地理院の基盤地図情報（2025年6月更新）の標高データ*を基に設定しています。

②背景図は国土地理院の基盤地図情報（2025年7月更新）を用いています。更新日以降で開発行為など様々な事業により建物、道路の配置が変わった場合、本想定と乖離がある場合があります。

※測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R8JHs 165

凡 例

最大浸水深(m)

～0.3m

0.3～0.5m

0.5～1.0m

1.0～3.0m

3.0～5.0m

5.0m～

下水道事業計画区域(雨水)

下水道全体計画区域(雨水)

行政界

